

## 大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録（案）

日 時 平成19年11月20日（火）15:05～17:15

場 所 山形大学事務局第1会議室

出席者 委員長 中村三春（山形大学） 副委員長 柚木泰彦（東北芸術工科大学）  
委 員 内田勝雄（県立保健医療大学） 吳 尚浩（地域活動部会長／東北公益文科大学）  
鈴木義昭（山形短期大学） 舟越利弘（県立農業大学校）  
友光健二（学術情報部会長／山形大学） 佐竹正行（山形大学）  
中嶋健治（東北芸術工科大学） 片岡卓爾（県立米沢女子短期大学）  
半澤昌子（山形短期大学） 佐藤 勉（鶴岡工業高等専門学校）  
結城政幸（放送大学山形学習センター） 原田富夫（代理／県立産業技術短期大学校）  
森谷伊都子（山形県）

オブザーバー出席者 小池隆太（地域活動部会副部会長／県立米沢女子短期大学）

欠席者 委 員 栗山恭直（山形大学） 松田幹夫（教育連携部会長／県立保健医療大学）  
嶋崎伸一（県立米沢女子短期大学） 伊東知之（羽陽学園短期大学）  
菊地 朗（山形大学） 阿部慎悦（県立保健医療大学）  
池田浩一（東北公益文科大学） 巻 久（羽陽学園短期大学）  
長谷川守男（羽陽学園短期大学） 江口裕之（鶴岡工業高等専門学校）  
大戸次男（県立産業技術短期大学校） 西村妙子（県立農業大学校）

議事に先立ち、委員長から、代理出席者とオブザーバー出席者の紹介があった。

### 議 題

#### 1 コンソーシアム事業のあり方について

委員長から、本議題の審議の進め方について次のとおり提案があり了承された。

- (1) 各機関から事業のあり方について意見を伺う。
  - (2) 資料1の4ページの「事業項目」ごとに審議いただき、本委員会として意見は各機関の合意により決定したい。
- (1) 事業のあり方に関する各機関の意見等は次のとおり。
- ・山大／可能なものは統合・集約した上で事業を継続。前回にも説明したが、文科省が大学コンソーシアム支援経費の概算要求をしており、本コンソとしても獲得に向けてトライすべき。本学学長は大学コンソーシアムに強い関心を持っている。外部機関から本コンソへの経費支援の話も出ている。
  - ・芸工大／公開講座はテーマを吟味すべき。各機関に負担過重にならないように配慮が必要。単位互換、学生交流は継続すべき。事業は消化するのではなく実のある活動に。入試面での合同事業は充実を。
  - ・保健大／基本的には現事業の継続を希望。ただ、負担金の増額は困難なので事業の縮小も必要。学内での周知不足が反省点。
  - ・公益大／県内や仙台での合同説明会は各機関で行っているの で、コンソでは東京、福島などのそれ以外の場所で実施しては。単位互換は距離的なネックを解消する、eラーニン

グ等で推進する。高大連携は継続すべきであるが、講演会等ではなくワーキンググループなどの年間を通した充実した取組みを願いたい。地域連携部会としては、学生活動関係の担当事業が増加しており、公開講座も担当するのは困難になっている。各機関によって学生活動事業への求めに相違があり、全機関にメリットがある内容にするために事業を見直したい。

- ・米短大／他のコンソの先進的内容を参考に。機関負担金の増額は困難、現負担金で実行可能な事業内容に絞り込むべき。
- ・山短大／学内業務が多く、コンソ業務に思うように手が回らない。効果的な事業に精選すべき。
- ・鶴高専／部会数と部会員をこれ以上増やすのは困難、現状維持で。合同説明会については、大学、短大とは入試環境に相違があるが協力している。サイエンスカフェの本校での開催は有意義だった。
- ・放送大／事業が多すぎでは。
- ・産短大／小規模校でマンパワーが不足しているが参加の意義は大。負担金の増額は困難。学内にも浸透しつつあり、教員の協力体制も徐々にとっていく。
- ・農大／学生や保護者へもコンソをPRしている。特に教養教育科目の単位互換に期待大。参加者が少ない合同説明会は縮小を。
- ・県／各機関間の連携を強化し、地域活性化に向け充実した事業を展開できるコンソに。負担金の増額は困難。
- ・意見のまとめ／費用対効果を考慮し事業を縮小すべき。負担金は増やさない。

次いで、委員長から、意見のまとめが確認された後、それを大枠として各事業項目ごとに審議後、本委員会の意見として別紙1のとおりまとめられ、12月開催の幹事会に提案することになった。

また、委員長から、本コンソで別途調査している「入試対応に関するアンケート調査」については教育連携部会で集計の上で検討することとしており、必要に応じ事業に盛り込むことになる旨説明があった。

## 2 幹事会の開催について

委員長から、12月11日開催予定の幹事会について、資料により議題等の説明があり了承された。また、総会については、年内開催に向けて日程調整することとした旨説明があった。

## 3 その他

なし。

### 配付資料

- 資料1 事業の見直しに関するアンケート集計結果、組織図、平成19年度事業中間報告書、平成20年度収支予算見込
- 資料2 幹事会議題案、幹事会名簿

【別紙1】コンソーシアム事業のあり方について、11/20 総務運営委員会の意見のまとめ

項目	No.	内容	結論	理由・留意点等
<b>■教育連携に関する事業</b>				
学生募集共同化	1	合同説明会／仙台	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日を仙台市のイベントにあわせる等、集客への工夫</li> <li>・大学入試センターが経費負担しての共催事業。共催は18-20年度の予定</li> <li>・1会場への縮小や、資料参加等の参加スタイルも考慮</li> </ul>
	2	合同説明会／県内		
単位互換		単位互換全般	内容を精査した上で継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位互換の対象科目数を見直す。履修普及活動を図り促進</li> <li>・VOD方式eラーニングを活用した利用を促進</li> <li>・利用を促進。山大以外の機関からも発信を</li> </ul>
	3	ゆうキャンパス独自科目の設置		
	4	eラーニングの推進		
<b>■地域活動に関する事業</b>				
学生活動	5	地域づくりセミナー	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の補助金(半額補助)を活用し、参加しやすい企画で継続</li> </ul>
	6	学生交流・連携活動の支援	継続 (総務運営委での賛否は半々)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生交流合宿は地域セミナーとは参加層が異なり、参加者が多く内容も充実している</li> <li>・学生活動支援は、各機関単位での支援事業もあるが継続</li> </ul>
市民向けサービス提供	7	公開講座の開催	No.8の教職員交流・連携シンポに統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関での開催等もあり、集客に苦慮。地域貢献の観点から廃止はしない</li> </ul>
<b>■教職員の交流・連携に関する事業</b>				
教職員の交流・連携	8	講演会・シンポジウム	継続 (公開講座を取り込む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座の要素を入れ、市民参加型に。経費的にも少ない予算で実施可能</li> </ul>
	9	全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム	継続 (予算の許す範囲で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソ間の連携、競争も視野に、情報入手の場として重要</li> <li>・各機関負担での参加も考える</li> </ul>
<b>■高大連携に関する事業</b>				
高大連携の推進	10	講演会・シンポジウム等の開催	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試センターが経費負担しての共催事業。共催は18-20年度の予定</li> <li>・高校サイドの教務担当にも入ってもらおう。私立校の参加も促進</li> </ul>
<b>■図書館の連携に関する事業</b>				
学術情報発信・広報	11	機関リポジトリによる学術情報発信	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業スタートして間もない。紀要等の電子化進んでいる。経費かけないで実施可能</li> </ul>
	12	各図書館の広報紙等の交換		
	13	各機関発行の紀要等の電子化		
利用者サービス	14	学生、教職員、市民に対するサービス		
	15	「ゆとり都OPAC」との連携による地域貢献		
図書館職員の連携	16	情報の交換・流通		
	17	職員研修会への相互参加		
<b>■広報に関する事業</b>				
広報の充実	18	共同ホームページの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容充実してきている。ウェブ上での参加申し込みも可能</li> </ul>
	19	パンフレットの発行	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動上、ペーパーも必要。小型化を検討</li> <li>・用途に応じてリーフレット版等、形式変える</li> </ul>
	20	広報紙の発行	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形式、発行部数等を精査</li> </ul>
■その他		機関負担金	据え置き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関とも増額は困難</li> </ul>
		事業の広報		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校に関係する事業の早期計画。県教育委員会への支援要請</li> </ul>